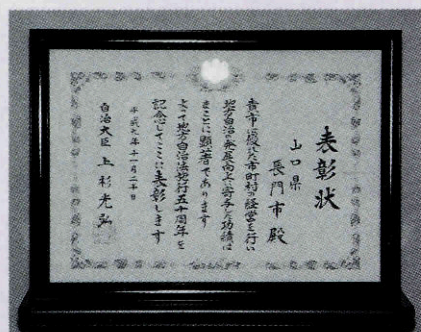


お一層強くいたしているところであります。

しかしながら、ご案内のように少子、高齢化や情報化の進展等、社会経済情勢の変化とともに、行政需要も質、量ともに多様化してきておりますし、一方では長引く景気の低迷等から地方財政も歳入不足が依然として続いており、厳しい行財政運営を余儀なくされております。加えて国・地方の財政健全化をめざした「財政構造改革の集中改革期間」に入ることから、財政環境は極めて厳しい状況が続くものと予想されます。

本市としましては、今後とも行政改革を一層推進するとともに、各種施策についても優先順位についての選択を行い、施策の重点化を図るなど、効率的な行財政運営に配慮し、平成十二年度からスタートします「介護保険制度」の受入体制をはじめ、市民生活の安定を期すための諸施策に全力を傾注して参りたいと考えております。

今後とも、市民の皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が皆様にとりまして、素晴らしい年でありますことを祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



地方自治法施行50周年

自治大臣表彰受賞

長門市は、地方自治法が施行されて50周年を記念しての自治大臣表彰において、全国3、232市町村のなかから、山口県では玖珂郡美川町とともに受賞の栄に浴しました。

この表彰は、「行財政運営の適正化に努めるとともに、自らの創意工夫により、優れた施策を実施した市町村」に贈られるもので、本市の場合は、県下のトップをきって策定した行政改革大綱に基づき、組織の見直しや事務事業の整理合理化・民間委託等により、職員定数297名に対し287名体制に削減するとともに、市長等特別職・職員の給与等の見直しによる経費節減を図るなど、積極的に行財政運営の適正化を進めたこと。

また、「市民が誇れるまちづくり」を主目標とした第3次長門市総合計画を策定し、生活基盤の整備をはじめ、福祉・教育・文化等の諸施策を展開しておりますが、なかでも長門市に出生伝承があり、東洋のシェイクスピアとして世界的にも評価の高い「近松門左衛門」をキーワードとして、平成6年度からNHKの協力のもと、人間国宝の中村鴈治郎、吉田養助さんをはじめ、「近松」に造詣の深い国内外の知名士の方々のご協力のもとに「近松祭in長門」などの取組で成果をあげていること。あわせて長門市出身の童謡詩人「金子みすゞ」にちなんだ「みすゞ館」や「みすゞ通り」の整備など「文化観光都市・長門」としての取組が国・県において高く評価され、この度の受賞となったものです。

